ライオン　浴室・トイレ掃除の負担を軽減する新製品を発売

「こすらず洗浄」の進化・拡張でさらなる市場拡大へ

ライオンは10月1日、ラクにキレイを実現する新方式の洗剤・洗浄剤ブランド「ルックプラス」より、浴室とトイレの清掃習慣を変革する2つの新製品を発売する。これら2製品は、「がんばらなくてもキレイ」をテーマに、家事の負担を軽減することを目的として開発された。

浴槽を「こすらず洗える」洗浄方式で浴室用洗剤市場を拡大してきた「ルックプラス バスタブクレンジング」シリーズには、頑固な汚れに特化した新ラインナップとして「HARD洗浄」（本体500mL、つめかえ用大サイズ800mL、つめかえ用特大サイズ1150mL、オープン価格）が追加される。

従来の「こする」清掃を続けている生活者の間には、「こすらないと汚れが落ちない」という固定観念が依然として存在しており、特に、翌日まで放置された汚れや、入浴人数の多い家庭で発生する汚れは、従来の洗浄方法では対処が困難と考えられていた。この課題に対応するため、バスタブクレンジング史上最高濃度の洗浄成分を配合し、シャワーの水圧だけでこれらの頑固な汚れを洗い流せる画期的な洗浄力を実現した。

使用方法は、浴槽全体にスプレーし、60秒後にシャワーで流すだけ。1プッシュで約1mの範囲にミストが広がる特殊なノズルを採用しており、ムラなく洗剤を行き渡らせることができる。

続いて、トイレ掃除が面倒な家事であり、ブラシを使いたくないと感じる声が多数を占める現状を踏まえ、浴室に続きトイレにも「こすらず洗う」新習慣を提案すべく、「トイレクレンジング」（クールシトラスの香り／ミンティフレッシュの香り、2種4品、本体300mL、つめかえ用640mL、オープン価格）を投入する。

洗浄強化成分を従来品の2倍に増量し、さらにクエン酸を配合。便器全体やフチ裏まで密着する泡が汚れを効率的に分解する。スプレー後、60秒放置して水を流すだけで洗浄が完了する。

また、黒ずみや黄ばみ、尿石の予防に加え、除菌、消臭、ウイルス除去、便座や床の抗菌効果も備えている。これにより、トイレ空間全体の清潔を長期間維持することが可能だ。便器だけでなく、便座や床の拭き掃除にも使用できるため、これ1本でトイレの多様な汚れに対処できる。

プロモーションでは、これらの新製品を通じて、掃除の概念を変革し続ける姿勢を強化する。既存のバスタブクレンジングユーザーに向けたSNS施策（縦長動画）を展開し、新製品への関心を喚起するほか、新アンバサダーを起用する。

トイレクレンジングの発売により、トイレにおける「こすらず派」の割合を現在の29%から39%へ引き上げ、約12億円の市場創造を目指す。両製品の同時展開により、ブランド価値の向上を図り、さらなる市場拡大を推進していく。

キュレル　花王Fine Fiber技術を応用した2つの新製品を発売

就寝中のスキンケアを変える「2層構造」マスクで新市場創造

花王は10月11日、敏感肌化粧品ブランド「Curél（キュレル）」より、独自の花王Fine Fiber技術を応用したシートタイプの「ハンドケアマスク」（4枚入・全2種（M・L））と「かかとケアマスク」（6枚入・ワンサイズ）を発売する。

これらの製品は、手や足の乾燥に悩む人々のスキンケア効果を向上させることを目的とし、既存のスキンケア製品に加えることで、乾燥性敏感肌のQOL向上に貢献する新たな提案となる。

キュレルは、ブランド誕生以来、皮膚科学研究に基づき「セラミド」機能に着目した製品開発を一貫して行ってきた。今回の新製品開発にあたり実施された調査では、身体の「カサつき」が最も気になる部位として、手が約73%、次いでかかとが約65%を占めることが明らかになった。特に、敏感肌の人の約半数が1日に3回以上ハンドケアを行っているにもかかわらず、手や足の乾燥に悩む人は多く、かかとについては、約7割の人が毎日ケアをしていないことが判明した。

これらの実態を踏まえ、同社は、直径1ミクロン以下の極細繊維で極薄膜を形成する独自の「花王Fine Fiber技術」を活用し、手軽にお手入れができるシートタイプのマスクを開発した。

新製品の「ハンドケアマスク」と「かかとケアマスク」は、花王Fine Fiber技術を応用した独自の2層構造シートを採用している。内側の層は髪の毛の100分の1ほどの細さの極細繊維で、外側の層は伸縮性の高い繊維で構成されている。

この独自の2層構造により、通気性を保ちながら、先に塗布した保湿クリームなどの成分を肌の上にとどめることができ、肌とシートの間に湿潤環境を維持する。ドライタイプのマスクを着用するだけで、ガサガサした手肌やかかとをしっとりと包み込み、睡眠中にお手入れの効果を底上げすることが可能だ。

「ハンドケアマスク」は、ハンドクリームを塗った手にはめるだけで、過酷な状況にさらされる手肌をなめらかに整え、寝具を汚す心配もなく、スマートフォンの操作も可能だ。

一方、「かかとケアマスク」は、保湿クリームを塗ったかかとにはくだけで、日中も着用可能で、床や寝具を汚さずにケアできる。

私の H&B 日記

Podcast

残暑は年々長期化しているが、現在は暦の上では秋に該当する。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋の3つが良く聞かれるが、秋にシーズンが始まるスポーツの1つに、バスケットボールがある。

筆者は部活でバスケットボールをやっていたなどの経験はないが、地元のバスケットボールチームを長年応援しており、試合観戦が趣味になっている。毎年この時期になるといよいよシーズンが始まるというワクワク感がある。オフシーズンを経たことによる「久しぶりに選手を見た」という感覚は年々薄れているように思う。

これには主に2つの理由がある。1つはチームの公式SNSで選手のコメントや映像とともに近況を知ることができることだが、これは以前から見られている。今回のオフシーズンからは、Podcastを始めた選手がいたため、よりバスケットボールの情報に触れる機会が増えた。

Podcastとはインターネットを通じて配信される音声コンテンツを意味している。ストリーミング再生やダウンロードをするだけで聴くことができるため、時間を取ってじっくり視聴したり、ちょっとした空き時間で視聴したりと、好きな時間に楽しむことができる点が魅力だ。その選手は、Podcastを始めた理由として「自チーム以外の話をする機会があまりなく、発信する場所もなかったため、リーグ全体のさまざまな話題を発信できる場を作りたいと思った」と話していた。

筆者が視聴しているある選手のPodcastはYouTube でも映像付きで配信されているため、新しい回が公開されると食事の時間に視聴している。選手視点からの各チームの評価や、プレイスタイルの特長、所属選手の評価なども多く、試合観戦がより楽しくなるような内容も盛り込まれており、非常に興味深い内容となっている。

更新の度に夢中で視聴しているうちに、いつの間にか今シーズンの開幕が迫っていた。「久しぶり」の感覚が薄いぶん、開幕戦が待ち遠しい。（上）